



西原町

ぎん会だより

No.87

2021 (令和3)年
3月1日発行

12月議会

今回の表紙題字
西原東小学校2年 崎浜 創也さん



太陽学童・ももたまな学童

「風にも負けず、寒さにも負けず、コロナにも負けないぞ〜!!」

子どもの使命を全うしますとばかりに、
ミ〜グルグル・チムどんどん!! 今日も遊ぶぞ〜!!
クラビヤドサムン!!

3月2日(火)午前10時 3月定例会開会予定

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



いじゆ さとる
伊集 悟 議員

GIGAスクール構想の先進的な取り組みで文教のまち再発信を！

問 令和2年度中に児童生徒一人一台の端末を整備するGIGAスクール構想。児童生徒に配布される端末の機種、納期は。

教育部長

端末はウインドウズ

町行政について

問 (1) 崎原町長は10月に就任したが、4年間での公約実現のために特に取り組み強化したい施策は。
(2) 令和2年度に取り組み重要課題は。

町長

(1) 行財政の健全化が重要。財源の確保のため、国、県、民間企業への積極的なトップセールスを行う。



みやざと よしお
宮里 芳男 議員

力で取り組んでいく。

予算編成について

問 (1) 12月時点での新年度予算編成状況は。(2) 重要課題としての予算編成項目は。(3) 現時点でのかい離状況は。

総務部長

(1) 6月より事業計画書作成、8月に事業計画ヒアリング、

タブレット(2in1)/ノートブックとタブレット両方型)で、納期は令和3年2月26日予定。

問 端末は当初、学校保管が基本だったがと思うが、有効活用するためには、持ち帰ってフル活用する必要があると思うが。

教育総務課長

家庭でできるドリルなどを検討し、基本的に持ち帰って使える方向で考えている。

問

端末の配布等、ハード面の整備は実現できない。経産省の実証事業で低学力層の習熟度向上に大きな成果のあるAIが搭載された最新のICT学習ソフトを教育委員会に紹介した際、学習ソフトの予算はないとのことだっ

だが、西原町で活用した場合の予算は。教育総務課長 正式な見積ではないが、1校あたり年間40万円と聞いた。

町長の西原町の子どものたちの未来への投資の覚悟と公約実現を問う

問 町民の負託を受けた予算編成権を持つ町長に聞く。私が確認したら1校年間35万円、6校で210万円。年間1人600円ほど。それくらいも捻出できないのか。このICT学習ソフト導入は低学力層支援で貧困対策にもつながる。今後の指導体制の先生方の負担軽減にもなる。町長の選挙公約にもある。西原町が先んじてやるんだという町長の思いを聞きたい。

町長

個別最適化されたGIGAスクール構想を進めるには、本来であればソフト面を充実させ、西原町を担う児童生徒の子どもたちの未来を考え、先行して対応したい思いは同じ。文教のまちとして、本心にこれから栄える町にするという気概は持ちたい。厳しい財政状況下、どこまで対応できるか、新年度予算の対応を含めて検討したい。

その他の質問

- デジタル化、ペーパーレス化によるコスト削減及び業務効率化
- 小波津川整備及び県道浦添西原線整備に係る既存道路の機能変更
- コロナ禍で利用者急増のふるさと納税



含めた三者で対応を協議し、早急に解決できるよう取り組みたい。要望書については12月中には回答したい。

浜田川の土砂撤去について

問 9月議会でも質問した浜田川の土砂撤去は今年度で早急に取り組んでほしい。

建設部長

12月補正で予算計上、

今年度で堆積土砂撤去を行う。

その他の質問

- 新型コロナウイルスについて
- 県道浦添西原線進捗状況について
- 県道那覇北中城線進捗状況について

道路行政について

問 坂田ハイツ内道路は分筆登記するにはかなりの資金が必要になる。その為に町長への要望書を10月26日に自治会より提出した。町長の所感を伺う。

町長

分筆登記についての思いはハイツの皆様と同じであり、管理者を

整備事業の令和3年、令和4年で、町の予算の要望額について対応を要請したところである。基盤整備が進んでいくことで固定資産税などの税収にも繋がる。これは財政を進めるにおいても、健全化を進める上でもかなり私は重要な事業だと考えている。

重層的支援体制整備事業について

問 西原町の相談支援のより充実化、福祉の推進に向けて「重層的支援体制整備事業」、また、福祉の基盤となる計画、「地域福祉計画」は必要だと思うが、その認識と展望を伺う。

福祉部長

近年、相談事業が多様



やましる かつたか
山城 勝貴 議員

西地区区画整理事業について

問 工事進捗率が約27%と、なかなか進まない現状に対する要因と見解、来年度の工事進捗率の目標値について伺う。

建設部長

工事がなかなか進んでいない要因としては、物件移転に伴う補償交渉や占用関係での関係機関との

都市整備課主幹 令和3年度は、坂田交差点に立地しているマックスバリュの移転補償などの課題もあるが目標としては34%ぐらいである。

協議に、予想以上に時間を要した。また、ここ数年、県全体の振興予算が削減されてきている傾向にあり、町からの要望額についても満額が付かない状況がある。予算配分については、繰越等も影響しており、今後の対応として難航中の補償交渉の解決、事業費の要望額に係る県との協議を鋭意努力していきたい。

問

西地区区画整理事業の重要性について伺う。

町長

11月24日に玉城知事へ、当

化、複雑化しており地域住民のニーズに対応するためには包括的な支援体制が必要である。関連機関の連携を強化し、包括的に取り組む重層的支援体制整備事業は重要だと認識しており、将来実施することが必要だと考えている。地域福祉計画の策定は他の福祉計画との整合性等、関係機関と十分協議を重ねながら、計画策定に向け努力したい。

その他の質問

- 特定相談支援事業について
- 委託相談支援事業について
- 福祉サービスの市町村格差について
- 自立支援給付費について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



きな まさもり 議員
喜納 昌盛

■次年度事業計画、予算編成

問 各部署、補助金団体等との調整を含めた事業計画、予算編成作業の進捗状況は。

総務部長 各課の予算要求の一次査定を行い、12月中旬に二次査定を予定。概算要求段階で約5億8千万円の乖離があり今後さらに大胆なカットが

■総合計画に取って代わるのが西原町まちづくり基本条例

問 先の町長選において、崎原町長陣営の街頭演説で上間町政の政策に関する幾つかの批判の中で総合計画の廃止問題を取り上げていたが、策定されるのか。前上間町長は時代の変化が激しい状況の中で10年スパンで作

っても見直しを余儀なくされる、4年スパンだとその時の社会状況に応じて条例の見直しや実行計画等も策定できると答弁している。私も同感である。
町長 平成30年に、西原町まちづくり指針を策定している。長期的な観点、視点に立ちつつ、重点的に実施しなければならぬ施策を位置づけており、総合計画という名称ではないが形



まえさと こうしん 議員
前里 光信

■会計年度任用職員の活用

問 西原町の会計年度任用職員は他市町村にない一日6時間勤務の職員が76名いると思う。7時間にすればある程度、毎月の生活は可能と思うが、町長の考えは。

町長 本年度からこれまでの臨時職員、嘱託職員を改め会計年度任用制

必要。補助金交付団体は、今年度と同額を予定。

問 「西原まつり」開催の計画は立っているのか。

総務部長 一括交付金の申請や次年度当初予算の確保に取り組み、新型コロナウイルスの収束が見えない中、これまで同様の計画が立てられるのか、今後の感染症の状況を確認しながら進めていきたい。

問 「海外移住者指定研修生受入れ事業」の実施計画は。

総務部長 アルゼンチンより1名を予定。

総務課長 来年5月頃決定。

問 「世界のウチナーンチュ大会」及び「世界のニシハランチュの



ぎま のぶこ 議員
儀間 信子

式は変わらない。実行計画も含め策定されており、今後もこのまちづくり基本条例をしっかり守っていきたい。大変すばらしい条例だ。時代に即した対応ができる現行制度、そのまま推進していく。

問 トップセールスについて
トップセールスで閉塞した状況を打開とあるがどういったことが

度に基づき雇用している。職務内容や資格、財政負担などの見地から、6時間を基本としながらも4時間から8時間に整理をしてスタートした。制度移行から8か月を過ぎ、次年度に向けては業務の影響や事業内容の変化にフィットしているのか、検証する必要があるが、勤務時間は選択肢が必要と考える。

■MICE関連事業について

問 MICE事業は沖縄県が事業主体であるが前に進んでいない。県は民間資本を活用して進めると言っているが、進捗状況は。関連する西原町の事業は今後どう進めるか。

町長 県では大型MICE施設を

集い」等の計画は。

総務部長 県は令和4年10月30日頃への延期を発表しており県の動向に合わせて実施していきたい。

■琉球大学医学部・病院移転

問 「国立大学法人琉球大学上原キャンパス跡地利用将来ビジョン検討委員会」が立ち上げられ、その会議が開かれたと聞くが、委員会の趣旨と経過、西原町の役割、そしてその会議の内容は。

総務部長 10月30日に第1回が開

催され委員長の互選と現状の説明がなされた。跡地利用の将来ビジョンを検討するため、土地利用、都市計画、既存建物等の利活用、スケジュール等に

町長 閉塞した状況を打開することではなく、自らが足を運び動くことによって賛同を得、協力をしていただくというのが基本だ。

問 「収入に合った事業の見直しが必要だ」と言っているが、収支のバランスだ。身の丈に合った町政運営だ。とても大事な事。前上間町政は厳しい財政状況の中で身の丈に合った

町政運営を余儀なくされた。削減一辺倒ではなく充てるところにはしっかり充ててきた。それに対し選挙戦では虚偽掲載、中傷ビラ挙句の果ては町長の退職金にもでたらめな怪文書がばら撒かれた。前上間町長もしっかり公約を実現し、町民のために働いてきた。

町長 収入を元に運営していく。前町長を批判した事は一切ない。

含むマリンタウンMICEエリアの形成を目指し、新たな基本計画の策定に向けて取り組み、調査等を進めていて、年度内に基本計画の最終案を取りまとめいくと聞いている。西原町の背後地の件は国道329号西原中城バイパスの都市計画決定に向けて取り組んでいる。

■特別支援教育について

問 特別支援教育を必要とする児童生徒は年々増加の傾向にある。中学校卒業後の進路について、県の新しい方向についてその動き、対策方の説明を求める。

教育部長 視覚に障がいを持つ生徒は沖縄盲学校高等部、聴覚に障がい

関することを審議。本町の役割は、土地利用の検討をどう進めるか、住民・まちづくりの視点を行政的に意見していくことになると考える。

町長 住民を網羅した形のビジョンを作るか、行政側で作るか内部で検討していきたい。

その他の質問
●現在の医学部・病院の敷地面積、当初の地権者数、町有地の面積は。
●「棚原・上原土地区画整理事業」の清算業務の完了は。

その他の質問
●学校給食共同調理場について
●普通交付税について
●ハラスメントについて



▲築35年が経過する給食センター

を持つ生徒は沖縄聾学校高等部、肢体の不自由な生徒は鏡が丘特別支援学校高等部、知的に発達が遅滞のある生徒は、程度により島尻特別支援学校高等部、沖縄高等特別支援学校、中部農林、陽明、南風原、八重瀬高等支援学校を受験することが出来る。次年度より真和志高等学校に、知的障がいの生徒が障がいのない生徒と共に学ぶ教室が設置される

その他の質問
●「首長はトップセールスマン」の意味は何か。
●国民健康保険特別会計について
●ふるさと納税について
●工業専用地域の活用
●新型コロナウイルス感染症対策
●本町の公共施設の管理改革について
●町観光協会設立について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



みやざと ひろふみ
宮里 洋史 議員

■青年団体の活動を促進する

問 青年団体について提案。例えば今、青年団体を持っている、もしくは新しく立ち上げるところに関して、年2、3万円程度補助を行い、活動の呼び水にしたらどうか。青年協議会という形でまとまった補助金を入れるわけではなく、各自治会が持っている

る青年団体の活動資金にすることが、今の西原町にとってはスムーズに進むのかと思うがどうか。

町長 大変いい意見、提案だと思う。財政的な問題はどついてもあるが、まずは地域で呼びかけをしていただきたい。呼びかけを先にやって、その地域の盛り上げというのがあると思う。こういう補助金があればみんな頑張るよというような姿勢がしっかり地域から盛り上がったければ、この案は大変いい案だと思う。ぜひ財政を見ながら検討していきたい。

■ふるさと納税を町全体で推進する

問 今、インスタグラム等のSNSがいっぱいあるから、単純に画像でいい。西原町、さわりんであったり、西原町ふるさと納税で1、2、3位、QRコードを入れて、各個人がSNSで発信してもらいたい。そういった個人的な活動を町長がトップセールスする中で、町民みんなでできるようにしたほうがいい。それは町民に還元できるから。町民に対して教育環境、子育て環境、福祉環境がよくなるのであれば、町民も頑張ろうかなという機運を作ってほしい。

広がって、拡散していくのかなと思う。次年度以降、この案件については我々内部で検討させていただきたい。



その他の質問

- キャンプチームと指導者・父母との交流
- PPP/PPF 視察の内容は
- 認定こども園の今後の展望
- 子ども医療費助成の拡充
- 役場職員環境について
- ネーミングライツの進捗は
- 小波津川の観光活用

■現在の西原町の課題解決に向けて！

問 崎原町長が行うトップセールスの具体的な方向性を伺う。

町長 財政状況が大変厳しい中、国や県に積極的にトップセールスを行っていき、これまで活用できなかった補助事業を活用するために新たな沖



ぎま しゅんたろう
儀間 駿太郎 議員

問 西原町として行政のデジタル化についての考え方を伺う。

総務部長 国における行政のデジタル化推進に強い意志を感じており、国の動向を見ながら対応していきたい。

問 デジタル化を進める中で、人材確保について既存の職員のスキルアップ等の仕組みは可能か。

企画財政課長 今回導入予定のRPA等に関わっていく中で興味を持つ職員が増えていくことも大事ではないかと思っている。県レベルで東海岸サンライズベルトという地域として人材育成を行っていく議論も進んでいる。

問 さわりん商品券の配布遅延はなぜ

問 地域活性化を目的とした全町民対象のさわりん商品券が、当初予定から配布が遅れている原因は。

建設部長 配送業者を変更したため。地域によって配布の差があるのはなぜか。

産業観光課主幹 配送業者の支店が浦添にあるため上地区から順に配っており、下地区はどうしても最後のほうになってしまふ。

その他の質問
● マインパークカードの普及率と今後の課題
● 町のホームページの運用状況
● 崎原町長の目指す街づくりについて

■行政のデジタル化について

縄振興特別措置法の中で要望するなど働きかけていきたい。ふるさと納税の取り組みを強化し、自らが先頭に立って動いて財源を引き出していきたい。また、町が抱えている課題事項についても国や県・企業などに自らが直接要請に行き進捗させていきたい。



おおた みのる
大田 實 議員

■コンビニエンスストアにおける証明書の自動交付について

問 以前にも取り上げられているが、再度提案する。前回の答弁ではホストコンピュータが高額になり見送られたとのこと。しかし、この

要性がある。コロナ禍の収束はまだまだ先の見えない状況にあり、また行政事務の効率化としても検討する必要があると思うが。

総務部長 コンビニ交付サービスについては、申請者は役場へ来庁することなく、窓口の混雑解消にもつながり、また新型コロナウイルス感染症防止及び利便性に寄与するものだと認識している。しかし、導入に当たっては初期設置費用、維持費、発行手数料など多額を要するものであり、費用対効果、本町の財政状況を踏まえ検証した結果、導入を見送っている。

■公民館建設について

問 平園において公民館建設は長年の悲願となっている。当該地域から議員3名輩出し、町長の出身地でもある地域に住民拠点となる公民館を有してないのはいかにも不自然である。

町長 本来は平園自治会に移転する状況であったが、現在町の名義である。当時は地縁団体の組織が無く、最近、地縁団体を組織し、今移行の準備をしている。



▲現在の平園公民館

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



よぎ きよし
与儀 清 議員

町葬祭場建設について

問 私は西原町葬祭場建設の問題について、この場で19回、一般質問をしてきた。今回が20回目である。いわば私のライフワークの一つである。それで新町長となった西原盛秀町長の西原町葬祭場建設に対する理念、基本的な考え方を伺いたい。

町長 葬祭場はご遺族の悲しみに寄り添い、ひとときの心の癒しを提供できる場所として、また御参列の皆様が故人をしのびお別れの時間を心安らかに過ごしていただける癒しの葬祭空間を提供する場所だと思つて。そのため本町に公営の火葬場、葬儀場を建設することにについては、町民が優先に、さらに安価に使用されるものと考えている。

問 葬祭場建設の議論の中で、葬祭場の必要性は認めつつも、財政難を理由にこれまで悲観的な答弁であった。それで私は民間活用を提言した。「西原町、民間による火葬場建設を推進する議員の会」（仮称）を考え、5人の議員の賛同を得た。しかしこのコロナ禍の中、思った活動もできず、

今後も見通せず活動できなかったのは誠に残念である。それで伺いたいのは、新町長はこの民間による葬祭場建設をどう思うか。

西原さわびマルシェオープンにあたって

問 西原さわびマルシェオープンにあたって、さわりんグッズ及びさわりん関連商品の特設コーナーを考えては。

建設部長 西原さわびマルシェ

いるか。

ごごも課長 公立で今実施している

事業の中で、特別支援教育などのいわゆる特別な配慮を必要とするお子様への取り組み事業を行っているが、民営化されたところで継続して事業が運営されるのか、懸念材料としてある。

地域福祉計画の策定について

問 近隣市町村の中城村、南風原町、那覇市は社協とタイプアップして策定している。だからそこら辺を活用して策定できないか。

福祉部長 確かに社協が地域での福祉の推進の役割を果たしている。また社協は、地域活動福祉計画を策定すると聞いているので、社協との連携も視野に入れながら検討していきたい。



▲全世帯対象のさわりん地元応援商品券



▲西原劇場にてさわりんグッズ販売中!

町長の町びらへの姿勢について

問 崎原町長は、これから4年間二ユーリダーとして町政運営を行うことになる。選挙公約の中から次のことについて聞く。(1) 幼稚園の認定ごども園化の取り組み(2) 保育士確保による待機児童の早期解消の取



おおしま せいいち
大城 誠一 議員

り組み(3) 浦西でだご駅周辺の徳佐田地域の都市基盤整備の促進。

町長 (1) 認定ごども園の調査

等情報収集を行い、実施できる方法や実施時期などを検討して行く。(2) 保育士の業務負担を減らすための保育補助者雇用に対する補助や保育士試験の対策講座を開講して解消に努める。(3) 民間企業を活用し、委託調査等

問

ゆいまーるにしたらわらびプラシオン2020の中にも認定ごども園化に取り組み際は、メリット・デメリットを考えながら慎重に取り組みとある。浦添市において実施しているが課題も随分あるという事だが把握して

問

臨時財政対策債は曲者で赤字公債と言われ、赤字を埋めるもの。将来の世代にとっては全くメリットが無く、借金の先送りであるが、どの様に捉えているか。

企画財政課長 その通りで公債費残高として積みあがる。余裕のある自治体は借りない所もあるが、本町は、全額借りないと予算編成出来ないという厳しい状況である。

先が見えないMICE どうする

問 昨年、総務財政常任委員会で調査を行ったが、具体的なスケジュールや予算、企業投資が受けられるのかも定かではない。どの様に県と



まえしろ てつ
真栄城 哲 議員

町財政「光明も注意が必要」

問 昨年度末、99億円まで圧縮された公債費。今年度末95億円程度への更なる圧縮は可能か。

企画財政課長 公債費の未償還の元金残高は、95億円台まで圧縮できると見込んでいる。

更に重要 「アフターコロナ」対応

問 コロナ禍の対策は当然の事、アフターコロナの対応も重要。町民・企業等の対応をどの様に、行っていくのか。

町長 新たな防災体制を整えていく。学校現場では、学習時間の確保や子ども達のメンタル面等の課題。また取り残される企業が無いよう注視する

問 特に、貧困家庭その方々に対しての手当はどう考えるか。

副町長 現在、社協と協力し食料品等の配布や貧困基金の活用を行っている。今後も社協と連携しながら、必要とする方に食料品を配布するなど対策に努めたい。

その他の質問

- 役員組織のハラスメントに関する体制
- ふるさと納税
- 西原まつり
- 地域伝統芸能及び地域活性化

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



おおしま よしたか
大城 純孝 議員

■新町長の公約について

問 新町長の公約について、選挙のチラシの中で公表された西原町の目指す将来像について伺う。就学援助費について前町長との違いはあるのか。

町長 就学援助の前町長との違いについては、今年度から入学準備金の

就学前の支給を実施する予定である。これまで4月以降に申請、認定及び給付を行っていたが、令和3年度に新たに就学する6歳児及び小学6年生に対し、就学前の3月に入学準備金として給付をしたい。

問 コロナ禍の中で児童生徒へのタブレット配置による教育環境の変化について伺う。

町長 児童生徒がドリルソフト等を活用し、学習状況に応じた個別学習を行い、個別最適化された学びの充実が図られる。タブレット端末などICTの活用をプラスすることで学習活動が一層充実すると考えている。

問 都市基盤整備の大型MICE施設の早期建設促進、後背地周辺

の土地利用見直しについて町長の優先順位としてどう考えているのか。

町長 県は新たな基本計画の策定に向け調査を進めているところで、去る11月24日の県知事への表敬訪問時に大型MICE施設の早期事業化を強く要望したところである。

問 西地区区画整理事業と徳佐田地区の事業休止についてどう取り組むのか伺う。

町長 当該地域は西原町都市計画マスタープランで中核的な商業地と位置づけられ、商業補完機能を担うサブ核として計画されている。西地区区画整理事業の予算確保についても、県知事への表敬訪問時に要請している。徳佐田地域の開発については、ただこ浦



▲12月にオープンした西原さわふじマルシェ

その他の質問
●学童保育と待機児童の早期解消
●西原マルシェを核とした地域の活性化
●兼久東崎線の放置車両の進捗について

■西原町総合計画について

問 西原町の町づくりの未来像と今後10年間の取り組みを定めた総合計画の必要性を聞く。

町長 平成30年3月に西原町まちづくり指針が各種個別計画や実行計画も含め長期的視点で策定されていて、今後もこの形で進めていきたい。

■図書館行政について

問 図書館の役割と目的、サービスの内容は。地域によってサービスの恩恵を十分に受けられない地域もあるがこれからの図書館構想を聞く。

教育部長 西原町立図書館には、文教のまち西原情報センター、本と出会える空間、人と人が出会える空間と



ながはま ひろみ 議員

しての役割があり、人々の知的欲求に応え、生涯にわたって自己学習ができれば、あらゆる世代の地域住民が集い触れ合う場として活用されることを目的とする。自治会等への団体貸出を活用し、これらの施設の共有スペースで閲覧するなど、より図書館資料と出会える図書館を目指していく。

福祉行政について
問 重層的支援体制整備事業、ダブルケア、80・50問題、ヤングケアラーなどの見解を聞く。

町長 年々多様化、複雑化する福祉ニーズに対応するため社会福祉法が改正され、地域共生社会の実現に向けて重層的支援体制整備事業が創設された。西原町の福祉向上や福祉推進のためには必要であると認識しており将来実施に向けた取り組みを行うべきと考える。

福祉部長 地縁血縁の希薄化などにより、介護と子育てを同時に担うダブルケア、同居する高齢の親と引きこもりの子が介護や生活困窮により社会的孤立を招いている状態の80・50問題、家族の介護や世話を担う18歳未満

その他の質問
●教育行政について
●福祉計画策定について
●保育行政について
●新型コロナウイルス感染症対策について



いけい ひろこ
伊計 裕子 議員

■多くの町民がオール沖繩の町政だと期待しているが

問 辺野古新基地建設反対と公約。多くの町民がオール沖繩の町政だと期待している。町長の決意を伺う。

町長 オール沖繩の立場で「命どう宝」「平和実現」を掲げ、辺野古新基地建設に反対する旨をアピールし

た。町のトップとして町民主役の町民の福祉、教育を優先すべきものだと考える。よって、第一に西原町のためにしっかりとやっていく。それが沖繩県のためになるという思いで町政運営を頑張っていきたい。

■平和行政についての町長の見解は

問 安倍政権の「継承・発展」と「自助・共助・公助」を唱え、辺野古唯一の管政権が誕生した。辺野古の海を埋め立てる土砂の主な調達先を激戦地で遺骨が眠る糸満市と八重瀬町としている。憲法違反の学術会議任命拒否問題は、国民全体の問題、平和の問題でもある。町民の命と暮らし、平和

を守るべき町長の見解を伺う。
町長 国政についての議論は国政でやるべきだと思うので、差し控える。町民の中には多様な考えや意見があり、どちらの意見も尊重すべきだ。町長として町民の命と暮らし、平和を守ることは当然であり、恒久平和を実現するため引き続き平和教育を推進していく。

■ハラスメント防止について

問 西原町役場のハラスメント防止等における「要領」と「取扱指針」の職員への周知や研修は行われているか。

総務部長 庁内ネットワークを通して周知しており、いつでも閲覧可能

である。研修については、まだ実施できていないが必要に応じて実施できるよう努める。

■要領と取扱指針とセットでアンケート用紙の配布を

問 具体的に書かれている取扱指針と要領を全職員に徹底し、アンケートで実態を知るべきではないか。

総務部長 指針と要領は掲示板で知らせ、県の人事委員会、町の総務課で申出等ができるような体制で、ちゃんとやっていきたい。指針、要領も見ながらアンケート調査は考えていきたい。

その他の質問
●介護保険について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



やびくみつる
屋比久 満 議員

■西原さわふじマルシェについて

問 (1) オープンイベントのコロナ対策は？ (2) 地元農家、町外農家、加工品の手数料を聞く。(3) オープンイベントの交通誘導や警備体制は。

建設部長 (1) 来場者の検温、

ステージイベント入場者の制限を行う。(2) 出荷生産者は225名で、販売手数料は、町内・町外とも販売価格の15%で、加工品は20%。(3) 委託業者が会場内・役場駐車場に7名配置する。

■子供育成基金について

問 北部のある町村では、町内外の企業、町民が未来を背負う子供たちの為に、親善チャリティゴルフ大会を開催している。本町でも開催を提案したいが、町長の見解は。

町長 現在、西原町人材育成会の寄附金で対応して財源が整っている状況で、提案の子ども育成基金を目的とした、チャリティゴルフ大会やボウリ

ング大会等の開催について、子どもたちの未来のための寄附金や他の目的を持った寄附金として活用できないかを調査しながら、ぜひ前向きに検討する。

町長 (3) 町外在住の職員に対して、役場内で西原町への、ふるさと納税を呼び掛けている。本町ふるさと納税を行っている職員も多くいるので、しっかり呼びかけをする。私は、西原町を宣伝しながら、ふるさと納税を呼び掛けているが、議員各位においても町外の知人友人、親戚等への働きかけの協力をお願いしたい。

■町職員の居住地について質す

問 (1) 本町職員の正職員・非正規職員の人数を聞く。(2) 正職員・非正規職員の町外居住者の人数は。(3) 町内居住者の職員は町民税等を納めているが、そこで、町外居住者の職員について、ふるさと納税を提案したいが、町長の見解は。

総務部長 (1) 正規職員は、237人で、非正規職員は、254人。(2) 正規職員の町外在住者は79人、非正規職員の町外在住者は79人。

研修関係

沖縄県町村議会 議長会主催研修会

沖縄県町村議会議長会（伊波篤会長）主催による研修が10月23日に嘉手納町で開催され、各町村から議員・事務局職員合わせて約400名の参加がありました。

講師の鍵屋一氏（跡見学園女子大学教授）から「町自治体の防災・減災対策と災害時の議会議員の役割」について、平岡順人氏（全国町村議会議長会議事調査部長）からは、「町村議会議員選挙における選挙公営及び供託金について」をテーマに講演いただき、各自が学びを深めました。



▲町村議会議員・事務局職員研修会のもよう

表紙の題字と写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか？

表紙の題字（『議会だより』の文字。横書き）と写真を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字と写真をお待ちしています。

送付先

議会事務局（担当：漢那）
TEL:945-5122 FAX:945-5045
mail:gikai_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

令和2年 第8回臨時会 議案議決結果

議案第58号	連玉森「平和学習広場」の区域外設置について	原案可決
議案第59号	工事請負契約締結について（津花波上原線擁壁設置等工事）	原案可決
議案第60号	工事請負契約締結について（小波津川5号車道橋上部工工事）	原案可決
議案第61号	動産の取得について（サーマルカメラ設置事業備品購入）	原案可決

令和2年 第9回定例会 議案議決結果

議案第62号	動産の取得について（新型コロナウイルス感染予防対策備品等購入事業）	原案可決
議案第63号	西原町いいあんべ一家指定管理者の指定について	原案可決
議案第64号	中部広域市町村圏事務組合の規約の変更について	原案可決
議案第65号	西原町教育環境整備基金条例について	原案可決
議案第66号	西原町立小中学校体育館長寿命化基金条例について	原案可決
議案第67号	西原町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第68号	西原共同福祉施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案第69号	令和2年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第70号	令和2年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第71号	令和2年度西原町後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第72号	令和2年度西原町下水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第73号	動産の取得について（GIGAスクール環境整備事業児童生徒用端末調達）	原案可決
議案第74号	動産の取得について（GIGAスクール環境整備事業端末充電保管庫調達）	原案可決
発議第2号	専決処分事項の指定廃止について	原案可決

2021年 GIGA スクール構想がスタートします！ 子どもたちの教育はどう変わる？！

西原町の児童生徒用 PC 端末
(タブレット・ノートブック)
3,450台 購入費 1億 5,669万円
12/9 可決



4月から児童生徒1人1台

GIGA スクール構想とは

GIGA スクール構想とは、文部科学省が小中学校の児童生徒に1人1台の端末(パソコン)の整備と学校に高速大容量の通信ネットワークを完備する教育政策で、従来の学習から、だれも取り残すことのない次世代型学習の実現に向け、児童生徒の力を最大限に引き出す教育の提供を目指すものです。

1人に1台の端末が整備されることで、子どもたちの学びは一層充実していきます。これまでの授業のあり方が変わり、端末を活用した双方向の授業によって、一人一人の反応を踏まえたきめ細かな指導や学習状況に応じた個別学習が可能になり、多様な子どもたちに個別最適化された学びが提供できるようになります。また、端末を適切に活用して、情報を収集し、まとめて、発信する活動や、それらを協働的に行うことを通して、情報活用能力を含む「確かな学力」の向上が期待できます。



子どもたちに配布される PC 端末

令和3年 第1回臨時会 議案議決結果

議案第1号	令和2年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
-------	----------------------	------

新型コロナのワクチン接種に向け 2,355万円の補正予算を可決

西原町では、令和3年第1回臨時会において、新型コロナウイルスのワクチン接種に備えた事業費 2355万円を含む補正予算が可決されました。今回の予算では、国が優先接種者と定める医療従事者と高齢者(65歳以上)への接種にかかる費用で、医療従事者への接種を2月中旬、高齢者(65歳以上)への接種を4月から開始する予定。町では、医療機関での個別接種と公共施設での集団接種も想定し、準備を進めていく。3月中には、高齢者に接種券を発送する予定です。21年度中には全町民の接種を予定しています。



皆さんからの陳情はこうなりました

12月定例会で審査した陳情の結果を報告します。

	件名	提出者	採決方法及び付託委員会	結果
陳情番号848号	令和3年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてお願い	日本理科教育振興協会	本会議即決	採択
陳情番号849号	国の責任による「20人学級」を展開した少人数学級の前進を求める陳情	新日本婦人の会・沖縄県支部	配布	
陳情番号850号	固定資産税(土地)に関する陳情書	地権者 城間 英一	総務財政常任委員会	継続審査
陳情番号851号	人生百年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望	西原町シルバー人材センター	本会議即決	採択

<継続審査分>

陳情番号843号	小那覇地域内の河川氾濫危機による河川整備及び安全管理方について要請	小那覇自治会	建設産業常任委員会	採択
陳情番号847号	日常生活用具給付等事業(紙おむつ)の給付要件の緩和・西原町に対する支援要請に関する陳情	沖縄県自閉症協会	文教厚生常任委員会	採択

西原町行政
スマート化
事業

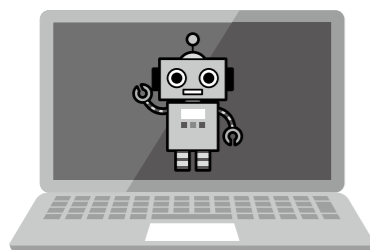
ロボット(RPA)導入で、役場の業務効率化、働き方改革を推進へ！

RPAの導入でどんなメリットがある？

これまで役場職員が手作業で行っていた申請情報入力やデータの収集などの単純作業をソフトウェア型ロボット及びAIによる文字データ化で自動化することにより、大幅な業務効率化が図られます。それにより、作業時間の短縮、労働時間の削減、人為的ミスを無くすことなどが期待できます。また、職員を定型業務から企画型業務への人材活用ができるなど、働き方改革の推進が図られます。

西原町では、先行して児童手当と就学援助の手作業について、RPAを活用していく予定です。

人に代わって
ロボットが
作業するよ！



RPAとは

ロボティック・プロセス・オートメーションの略。
人間が手作業で行ってきた単純作業をソフトウェアの
ロボットにより自動化するものです。

先進地視察研修

建設産業常任委員会(大城純孝委員長)は11月10日から12日にかけて、農水産物流通・加工・観光拠点施設の運営及び MICE 施設取組の参考とするため、福岡県の JA 3 施設と道の駅、福岡国際会議場等を視察しました。JA は品揃えが豊富で立地条件も良く、活況があり、MICE 施設周辺ではホテルや交通アクセス整備が重要と感じた。本町においても西原さわふじマルシェの運営にあたっては、集客のためのアピールが大事であり、サービスの差別化を図るなどの取り組みが必要である。



▲ JA 筑紫ゆめ畑太宰府店にて

3 常任委員会合同所管事務調査～12月定例会～

12月定例会中の12月10日、3 常任委員会(総務財政・建設産業・文教厚生)は、合同でオープン直前の西原さわふじマルシェを視察し、うんたま市場や西原劇場等の各施設について担当課より説明を受けました。



▶ イベント開催が可能
なさわふじ広場

建設産業常任委員会

建設産業常任委員会(大城純孝委員長)は10月28日、9月定例会で継続審査となっていた陳情第843号(小那覇地域内の河川氾濫危機による河川整備及び安全管理方について要請)の審査のため、小那覇自治会役員とともに、現場視察を行いました。(陳情は12月定例会にて採択。)



▶ 小那覇地域内で
河川の状況を視察

題字制作者

西原東小学校 2年
崎浜 創也さん



【ひとこと】

頑張って書きました。
好きなことは歩くこと
です。
犬と散歩したり友だち
と一緒に虫や花や
葉っぱを探したりして
います。

お母さんと仲良しツーショット♡

総務財政常任委員会

総務財政常任委員会(真栄城 哲委員長)は11月18日、本町の大型 MICE 施設と RPA 導入の進捗状況や今後のスケジュール等について担当課長等を招致し、聞き取り調査を実施しました。

議会活性化調査特別委員会

議会活性化調査特別委員会(宮里洋史委員長)では常任委員会の在り方を議論しており、10月26日、2 常任委員会制である八重瀬町議会を訪れ、委員会の運営状況について学びました。(本町議会は3 常任委員会制)

12月議会の傍聴者

延べ人数

22 / 人

議会だよりに対するご意見、ご要望等はこちらへ

西原町議会事務局
TEL:098-945-5122

議会広報調査特別委員会
委員 山城 勝貴

これまで以上に生活も教育の形も変化していく一年になるのではないのでしょうか。私自身も行動やこころの持ちようなど、「変えられるものを変える勇気」を意図して様々な活動に取り組んでいきたいと思えます。

このような状況ですが、「コロナ」に負けず、お互いに支え合いながら、一日一日を健康に過ごしていきたいです。

さて、今年度は本誌に掲載している「コロナウイルスワクチン接種」に向けての準備、「GIGAスクール構想」「RPA導入」など新しい取り組みが始まろうとしています。

そのような閉塞感が漂うなか、西原町では12月にさわふじマルシェオープンという明るい話題もありました。本町にとってこれが雨過晴天の兆しとなる事を願います。

カンヒザクラ満開の季節春の兆しを感じる反面、いまだ収束の見通しが立たないコロナウイルス。この予測不能な外部環境が社会全体の経済活動、私たち一人一人の日々の生活に大きな影響を与え続けています。

じぶやき